

課題① 【地球に優しい 養殖ウニ】

港のすぐそばにある、こちらの建物。中には大きな水槽が並びます。

漂っているのは、むなかたおき宗像沖で収穫されたウニです。【1〜14秒】

宗像沖では、ウニなどが海藻を食べ尽くし、

海の砂漠化といわれる「磯焼け」が問題に。

ウニ自体も餌不足で身が減って、商品価値がなくなっていました。

【〜31秒】

そこでこの施設では、

今年1月から駆除されるはずのウニを飼育し

商品化する実験を開始。

身がスカスカだったウニも

4ヶ月後にはしっかりと育ちました。【〜46秒】

特徴的なのがエサ。

うどん店でだしを取った後の昆布や

観光農園でとれたタケノコの堅い部分などを与えており、

フードロス削減も期待されています。【〜1分】

課題② 【技術が詰まった新紙幣】

新たな顔ぶれに変わります。

日本銀行福岡支店は、

2024年度に発行する新しい紙幣を公開しました。【1〜11秒】

新紙幣の一万円札は、

実業家で日本で初めて銀行を創設した、渋沢栄一。

5千円札は、津田梅子。

千円札には、北里柴三郎の肖像が印刷されています。【〜29秒】

新しい紙幣には偽造防止のための最新技術が。

紙幣を左右に動かすと、ホログラムの肖像の向きが変わります。

不思議ですね。

この技術を紙幣に取り入れたのは、世界で初めてです。【〜49秒】

日銀によりますと、新しい紙幣は来年度の使用開始に備え、

今年度にも、およそ30億枚を印刷するといっています。【〜1分】

課題③ 【思い出を色鮮やかに】

4月末にオープンした、「モノカラ」。

写真に「ある加工」を施す専門店です。

およそ70年前の博多祇園山笠の写真。【〜14秒】

色をつけた伊藤晃生いとこうせいさんは、

この春、大学院を卒業したばかりです。

研究を続けた、「白黒写真のカラー化」の

専門店を立ち上げました。【〜27秒】

A：人工知能によるカラー化が主流の中、

伊藤さんは、依頼者から当時の話を聞き、

手作業で色をつけます。【〜39秒】

晴れか曇りかで肌の映りも変わるため、

資料をもとに、天気や

当時流行したファッションなどを調べ、「記憶」に近づけます。

伊藤さんは、眠っていた「家族の日常」に

当時の彩りを呼び起こしたいと話しています。【〜1分】